

1 快適な都市空間の形成

都市の骨格となる道路整備

- ・慢性的な交通渋滞の緩和を図る道路整備を推進します。
- ・別府市内においては、(都)山田関の江線の道路整備により、中心市街地のボトルネックの解消や慢性的な渋滞緩和を図ります。

道路空間の再生

- ・道路の拡幅や既存の道路敷内における幅員構成の見直し、歩道整備、バリアフリー化、街路灯の統一、電線類の地中化などを実施し、質的向上を推進します。今年度は、臼杵市の(都)祇園洲柳原線等の道路整備により、事業の進捗を図ります。
- ・各都市圏内において、快適で安心な道路空間の形成のため、道路の拡幅や自歩道等の新設等により歩行者等の安全が確保された道路の整備を推進します。

都市公園の整備

- ・大分スポーツ公園に武道等のスポーツ振興や、広域防災拠点等の多目的に利用できる屋内スポーツ施設を建設します。

屋内スポーツ施設の建設については、第3章「土木未来プロジェクト」を参照。

- ・大銀ドームではラグビーワールドカップへ向けて、老朽化した照明や音響の更新、屋根の鉄骨再塗装などを行います。



ボトルネック解消 ((都)山田関の江線：別府市)



【(都)祇園洲柳原線(南工区)】



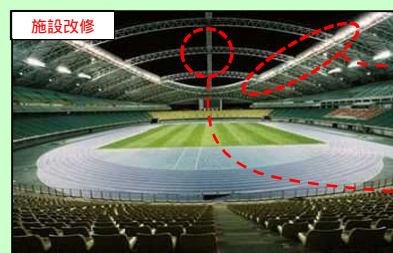
《完成イメージ》



【(国)500号】



《完成イメージ》



拡大

2 潤いのある水環境の創設

生活排水処理対策

「大分県生活排水処理施設整備構想 2015」に基づき市町村と連携し生活排水処理対策を推進しています。

- ・下水道整備や合併処理浄化槽への転換を推進する市町村に支援しています。
- ・整備に時間を要する下水道区域は浄化槽区域へ変更するなど、市町村に効率的な整備手法への見直しを促しています。



良好な河川・海岸環境づくり

・多様な生物が生息・生育する水辺の保全や復元、人と水とのふれあいの場の創出など、水辺環境の整備に努めています。

親水空間の創出



H28.7.23 田ノ浦ビーチ
「マリンスクール'16」

◆ 下水道の日に合わせた普及・啓発活動 ◆



◆ 各種イベントでの普及・啓発活動 ◆



住民参加の水環境づくり

・地域住民が参加する生活排水処理対策等の水環境づくりを推進するため、関係機関が連携して啓発活動を実施しています。

小学校への出前講座



・H28.6.28 川添小学校

3 快適な住まいづくりの推進

県営住宅の建替

城南北ブロック建替工事に平成27年度から着手し、平成28年度にHRR-2棟42戸が完成予定です。

段差のない移動経路、手すり設置及びエレベーター設置により、高齢者や障がい者にも安心して安全な住環境を提供します。



建替前



建替後（工事中）

住戸内バリアフリー（段差なし 引戸の採用 WC・浴室・玄関に手すり設置）が標準です。

1階は高齢者対応タイプとなり、加えて玄関入口の引戸、浴室・便所の緊急通報システムが標準です。

県営住宅の改善

劣化の程度が大きいものについて、優先的に外壁や防水等改修工事を実施し、建物の長寿命化を図ります。

エレベーターの設置されていない県営住宅の1階部分の住戸において、浴室やトイレに手すりや給湯設備等を設置し、高齢者の利用に配慮した改善工事を行います。



改修前



改修後

浴室の床をかさ上げして段差をなくし、手すり、給湯器、シャワーを設置します。



改修前



改修後

和風便器を洋風便器に交換して段差をなくし、手すり、非常呼び出しボタンを設置します。

4 「おんせん県おおいた」のツーリズム支援

主要な観光地を結ぶ道路整備

- ・主要な観光地間を周遊するルートや地域道路ネットワークを構成する主要な観光地へのアクセス道路について整備を進めます。
- ・平成28年度からは、新たに新城山香線梅ノ木南工区などに事業着手しました。

良好な景観の保全・再生・創出

- ・本県の恵まれた自然景観や文化を観光資源として活かすため、昨年4月～7月にかけて全国から誘客を図ったディスティネーションキャンペーンを契機に行った主要観光ルートの支障木伐採や防護柵の更新を引き続き実施します。

おもてなしの道路管理

- ・観光地へのアクセスルートにおいて、道路案内標識の英語表記適正化(1)を進め、また、消えかけた区画線の更新(2)を実施し、来県者が目的地まで分かりやすく、安全に運転できる道路環境の創出・維持に取り組みます



《防護柵の更新、支障木伐採の事例》

国道213号(豊後高田市堅来)



(平成28年度実施予定：国道213号外、延長900m)

1 《道路標識の英語表記の適正化》



(前) Spa (後) Onsen

2 《区画線の更新事例》別府一の宮線(由布市湯布院町川上)



平成28年度実施予定：県道塚原天間線外15路線、延長約36km

観光施策等と連携した取組

- ・県が推進する「ツーリズム戦略」などの観光施策等と連携し、魅力ある道路環境の整備等に取り組みます。
- ・スポーツツーリズム支援として、別府一の宮線(九重町大字田野 延長約2km 区間)において、路肩拡幅等による道路環境整備(トレーニングコース整備)を実施します。

